



三珠中学校校長室だより
令和7年10月21日発行
No.28
文責 校長 渡邊 康裕

三珠中HPはこちらから！



峡南地区英語暗唱大会

10月15日(水)の午後、市川三郷町生涯学習センター(if センター)において、峡南地区8中学校の代表が集い、英語暗唱大会が行われ、本校からも4名が出場しました。▼



4名ともこの日のために、放課後の練習に加えて家でもたくさんの練習を積んできたことが想像されます。会場には100人はいたでしょうか。このような舞台では、事前にいくらかたくさん練習をしてきたからといって、実力を出し切れるかというところ簡単にはいきません。緊張で頭が真っ白になってしまうこともよくあることです。しかし、三珠中学生は練習通り、いえ、練習以上に素晴らしい発表をこの舞台でやってのけました！暗唱だけでなく、表情豊かな表現に身振り手振りも交えて、本当に素晴らしいスピーチを披露してくれました。4名に最大限の賛辞を送ります！本当によく頑張りました。▼以下は審査員のコメントです。【1年生】

表情・声の通りが良い。もう少しテンポアップした会話にすると、より自然でいいと思います。【2年生】表現力が素晴らしく聞き入ってしまう魅力がありました。【3年生】声の大きさ、表情、ジェスチャーがよく素晴らしいスピーチでした。GREAT！



格好いい生き方してますか？

人は思春期を通して人間関係を学び、人格を形成すると言われています。中学3年間は思春期真っ只中の時間で、この3年間で人生におけるものの見方・考え方の礎になるといっても過言ではありません。▼そんな大切な時期を、ここ三珠中で生活しているみなさんに質問です。『あなたは格好いい生き方をしていますか？』▼『格好いい』と聞いて連想するのは、「派手な才能」や「ルックス」という人が多いかもしれません。しかし、大谷翔平選手のような類い希な才能の持ち主や目黒蓮さんのような完璧なルックスの持ち主はごく一部です。そういう特別な人だけを『格好いい』と言うのでしょうか？それは違うと思います。▼私は次の3つのことを大切にすることが『格好よさ』だと考えます。

①誠実さと責任感のある行動

これが最も本質的な格好よさにつながります。

・「約束を守る、時間を守る」：小さな約束でも守ることで「信頼できる人」という土台ができます。

・「自分の言動に責任をもつ」：失敗や間違いを隠さず認め、「ごめんなさい」「次はこうする」と言える潔さ。これは大人になっても、リーダーシップを発揮する上で不可欠な「格好よさ」です。

・「正直であること」：不利な状況でも嘘をつかない、ごまかさない姿勢は、周りの人から信頼されます。

②自分の頭で考え、行動する

他人に流されず、自分の意思で選択し、行動できることは重要なスキルと言えるでしょう。

・「なぜを大切にすること」：勉強や社会の出来事に対して、ただ覚えるのではなく「なぜそうなるのだろう？」と疑問をもち、自分で調べる習慣。

・「多様な価値観を理解しようとする」：自分と違う意見や考え方をもつ人をすぐに否定せずに、「そういう考え方もあるのか」と理解しようとする姿勢。視野の広さは、知的な格好よさにつながります。

・「目標に向かって努力する習慣」：部活でも勉強でも趣味でも、他人と比較するのではなく、「昨日の自分より成長する」という目標をもち、継続して努力できる忍耐強さ。

③他者への敬意と、居心地の良い雰囲気を作る力

「自分だけ」ではなく、他者と共に生きる力を身につけることも、格好いい生き方には欠かせません。

・「感謝の気持ちを伝える」：「ありがとう」を素直に言えること。これは人間関係の潤滑油であり、非常に気持ちの良い振る舞いです。

・「他者を尊重する態度」：年齢や立場に関係なく、誰に対しても温かい言葉遣いや態度で接すること。

・「人の良いところを見つける」：誰かの成功や良い行いを素直に認め、ほめることができる心の余裕。これは周囲を明るくする「器の大きさ」につながり格好よさです。

「格好いい生き方」は周りを幸せにする生き方です。今のあなたは格好いい生き方ができていますか？